

公表

事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	ぞうのしっぽ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6 (1名休職中)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入浴支援を行っており、在宅での保護者様のお困りやニーズに沿った支援が行えている	個別支援会議や担当者会議、保護者様とのコミュニケーションの中で、必要なケアの方法や困りごとを聴取している	今後利用を検討される方がいた場合に、身体的特徴に合わせた設備面の充実が必要と考えられる
2	個別支援計画、専門的支援計画について職員間で定期的に会議を開催して、対象児童の将来の方向性まで含めた支援内容、リハビリテーションの内容を共有・協議し続けている	児童発達支援管理責任者を中心に個別支援会議を開催し、各利用児の状況の共有や専門職の意見を聴取・共有する時間を設けることで、事業所全体で共通した支援を提供できるようにしている	担当者会議に児童発達支援管理責任者以外の職員も参加させていただき、各専門的見地から会議内容を支援に活かしている
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域の各カテゴリーに特化した課題(玩具も含めて)を提示すること	・各課題や玩具について、多面的な要素を取り入れていく	・5領域に関する知識をより深めること ・外部研修会等への参加を実施する
2	地域との連携が弱いこと	・事業所から近隣施設等への情報発信が少ない ・近隣施設開催のイベント等への参加できていない(職員のボランティアは少しづつ参加できるようになってきた)	・日頃から近隣施設との関わりを深め、連携できる関係性の構築を行う。 ・町内会の会合にも出席する ・災害時の協力体制を整える
3	保護者様に対する各種マニュアルに関するの情報共有、情報の発信の仕方の不十分さ	・契約時やマニュアル作成時等に伝えてはいても、それらが周知できているかの確認は不十分であった	ホームページおよびSNSの活用や、面談時を利用して各種マニュアルを作成していることやそれに沿ったの対応についての周知を図る。要望に応じてマニュアルを開覧できるようにしていく